



本町の教育指標：「進取の気象」「国際性」「社会貢献」

嘉手納町 教育委員会だより

令和7年8月発行 嘉手納町教育委員会



目標のない人間に努力は生まれません！ ～新たな目標を持って～

長い夏休みが明け、子どもたちは新たな気持ちで学校生活をスタートさせています。しかし、目標を持たずに日々を過ごすと、何のために頑張っているのかわからなくなることがあります。野球選手の大谷翔平選手は、高校時代に「夢ノート」を使って目標を細かく設定していました。「プロになる」という大きな夢だけでなく、「体を大きくする」「変化球を覚える」といった小さな目標の一つひとつクリアする喜びが、彼をさらなる努力へと駆り立て、世界トップの選手へと成長させたのです。子どもたちにとっての目標も同じです。それは、将来の夢だけではなくありません。「今度のテストで〇点を取る」「苦手な算数を克服する」といった、身近な目標で十分なのです。たとえ失敗したとしても、目標に向かって頑張った経験は、必ず子どもたちの力になります。そして、子どもたちの努力を支えるのが、私たち大人の励ましです。大谷選手も、才能だけでなく周囲の応援があったからこそ、あそこまで到達できました。ご家庭で子どもの頑張りを認め、「今日はどんな一日だった？」と優しく声をかけてあげてください。



次世代へつなぐ平和のバトン！「農林健児之塔」慰霊祭

「農林健児之塔」にて、終戦から80年を迎えた8月15日に慰霊祭が執り行われました。この塔には、戦前に嘉手納町にあった県立農林学校の教師や生徒502名の名前が刻まれており、沖縄戦で多くの方が尊い命を落とされました。慰霊祭には、ご遺族や町民の方々が参列し、戦没者の御霊に祈りを捧げました。當山宏町長は、恒久平和への強い決意と、平和を次の世代へと継承していくことの重要性を述べられました。嘉手納中学校2年の奥間叶奈美さんは、平和メッセージを朗読し、「今ここにある平和を未来へつなぐため、この手で守らなければならない」と平和への強い決意を語りました。



平和メッセージを朗読する奥間叶奈美さん

夏休み体験講座で「昔の知恵」と「縄文の心」に触れる！

夏休み期間中、子どもたちの創造力と探究心を育むため、2つの体験講座を実施しました。

●昔遊びワークショップで、遊びながら学ぶ

8月3日には、昔遊びワークショップを開催。昔ながらのおもちゃである指ハブ、カジマヤー（風車）、カタツムリなどを作り、手作りの楽しさを体験しました。また、コマやめんこ、お手玉、けん玉などの昔遊びを通して、デジタルではない昔の遊びの面白さを体感。子どもたちの笑顔があふれる時間となりました。



●土器づくりで、縄文人の工夫を体感

8月17日には、土器づくりに挑戦。ただ土をこねて形を作るだけでなく、縄文時代の人々がどのような工夫や努力をして生活していたのかを考えながら、作品を完成させました。完成した土器は、古代の人々の知恵が詰まった特別なものとして、子どもたちの大切な思い出になったことでしょう。



*町史文化財係：(098)956-2213

ようこそ嘉手納町へ！大山町との交流事業で友情を育む

7月29日から8月1日までの4日間、鳥取県大山町の児童12名が嘉手納町を訪れ、本町の児童と友情を育む交流事業が行われました。この交流事業は、互いの地域の自然や文化、歴史を学び、次代を担う子どもたちの成長を願って、夏と冬に実施されています。大山町の児童は、民泊家庭に温かく迎えられ、沖縄の風土や暮らしに触れる貴重な時間を過ごしました。沖縄戦について学ぶため、平和の礎や平和祈念資料館を訪れ、平和学習に取り組みました。また、復元作業が進む首里城を見学し、沖縄の文化や歴史を肌で感じました。美ら海水族館では、色鮮やかな亜熱帯の海水魚を間近で観察し、その美しさに目を輝かせていました。ビーチでは、海水浴やスイカ割りを楽しんだり、嘉手納町の児童と一緒に沖縄の夏を満喫している様子でした。この交流を通して、両町の児童は忘れられない夏の思い出を作り、友情というかけがえのない宝物を得たようでした。



因伯の塔（鳥取県）での献花



平和の広場でパチリ！



熱心に説明を聞く子どもたち



シーサーづくり



守礼の門の前でカシャッ！



友達と楽しい昼食時間



嘉手納町の歴史を学ぶ



美ら海水族館の前でパシャッ！



難しいスイカ割りに挑戦！

●大山町児童の夏の思い出 ～交流事業を通しての感想～

- ・ 沖縄の戦争のことや沖縄の歴史、文化などを学びながら、沖縄の人と交流し、たくさんの思い出ができました。大山町の代表として、沖縄で学んだことを地域の人々に伝えたいです。(男児)
- ・ 私が心に残ったことは、シーサーの色付けです。嘉手納町の友達とがんばって色を塗ることができて良かったです。私はあいさつや話の聞き方に気を付けて、この交流に参加しました。(女児)
- ・ 津波の影響で、バナナボートができなかったけど、海で泳いだり、砂を使って遊んだりしたことが楽しかったです。また、沖縄に来て泳ぎたいです。(男児)

* 社会体育係：(098)956-1111、内線(266・267)

嘉手納「ふるさとキャリア教育」の実践！～かでなっ子ハローワーク～

嘉手納町独自の教育理念「ふるさとキャリア教育」をご存知ですか？これは、ふるさとに生きる基盤を培う「ふるさと教育」と、自分の人生の指針を描く「キャリア教育」を融合したものです。「ふるさと嘉手納を教室に、町民一人ひとりを先生に」をコンセプトに、嘉手納の未来を切り拓く人材の育成を目指しています。その実践の場となるのが「かでなっ子ハローワーク」です。この事業は、「子どもと社会」「子どもと地域」「子どもと大人」「子どもと未来」をつなぐ役割を果たします。子どもたちは、地域の仕事や社会活動にボランティアとして参加したり、職場を見学・体験したりすることで、様々な経験を積むことができます。

サイトはへこちらから



あい花



Wool bakery



F Mよみたん



沖縄銀行



嘉手納町立図書館



嘉手納幼稚園



屋良幼稚園



町史文化財係（教育委員会）



都市建設課（町役場）



情報政策課（町役場）



さんさん保育所



珈琲喫茶カメシマ

* 社会教育係：(098)956-1111、内線（263・264）



SunHeart (アフタースクール)



南国製菓



光の子幼児学園



比謝川の里



ブルーフィールド



ホテル日航アリビラ



マクドナルド 58 号嘉手納店



読谷村漁業協同組合



もりあげ隊 (教育委員会)

子どもを薬物乱用から守るために！～薬物依存になる人の特徴を知ろう～

薬物依存になる人には、特定の共通した特徴や心理的背景が見られます。これらは個人の性格や環境によって異なりますが、一般的に以下の点が挙げられます。

(1) 心の居場所がないと感じている

・家族や友人、学校、職場などに自分の居場所がないと感じ、強い孤立感を抱いています。

(2) ストレスをうまく発散できない

・日常生活の悩みやストレスを、健康的な方法(スポーツ、趣味、相談など)で解消することが苦手です。

(3) 自己肯定感が低い

・自分に自信がなく、「自分はダメな人間だ」という思い込みが強い傾向にあります。

(4) 衝動性が高い

・後先を考えずに、目先の快楽や欲求に突き動かされて行動してしまうことがあります。

(5) 対人関係の構築が苦手

・他者との深い信頼関係を築くのが難しく、悩みを相談できる相手がいないことが多いです。

(6) 現実逃避の願望が強い

・現実のつらさや困難から一時的に逃れたいという気持ちが強く、薬物がその手段となってしまいます。

これらの特徴は、「**誰にも頼れない**」「**孤独である**」という**感覚**と深く関連しています。